

科目名	農業情報処理	単位数	1 単位	学科・学年	畜産総合 科 2 年	
使用教科書	農業情報処理	実教出版	副教材等	検定模擬問題集 日本情報処理検定協会		
学習目標	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解し、情報処理に関する知識と技術を修得する。また、農業の各分野で情報および情報手段を活用する能力と態度を身につける。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめ（定期考査までを学習のひとまとめ）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	意欲的に取り組む姿勢であるか。 テキスト等の忘れ物がないか。				
	②思考・判断	表計算において正確に表作成・処理ができる。 データ処理を正しく行い、式の入力、グラフ表示ができる。				
	③技能・表現	データ処理を正しく行い、式の入力、グラフ表示ができる。 正しい入力と文書のきれいなレイアウトができる。 得られた情報を正しく活用できる。				
	④知識・理解	文書作成や表計算をもとにデータ処理ができる。 コンピュータを活用したレポート作成やプレゼンテーションができる。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察		◎	—	○	—	自己評価の実施
FD		◎	○	◎	○	授業毎に提出
確認テスト		○	◎	○	◎	学期に1回実施
検定		◎	—	◎	—	希望者対象
<p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間ごとにHDに保存し、それを評価します。 ・学期に1～2回確認テストを行います。 						
履修上の注意	文字・文章の入力は、あらゆるソフトを使う場合の基本です。コンピュータを活用するためには、まずはワープロ機能を使いこなせることが前提であり、その基本操作を繰り返し習熟することが大切です。現在は、便利なソフトが数多くあります。農業情報処理では実生活の中に有効に活用できるようになることを目標にしています。また、評価についてはペーパー試験の実施が難しいので、毎時間の授業に重点をおきながら評価を行っていくので毎時間の授業を大切にしてください。また、授業は情報処理室で行いますので、テキスト、筆記用具を持参し、速やかに移動してください。					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1	4	1 基礎知識 1) 1年次の学習内容の確認と復習 ・日本語ワープロ 2) 検定への挑戦 ・日本語ワープロ検定 2級 ・情報処理技能検定 (表計算) 3級	2	より高度な活用について学習する前に、昨年度の学習内容について復習する。また、昨年度の検定未受験者は積極的に挑戦できる自信を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況観察 ・HD提出 ・自己評価 ・1学期確認テスト ・出席状況
	5 9	2 ワードプロソフトウェアの利用 ワードのより高度な操作ー 1) 日本語ワープロの概要 2) ワープロの基本操作 ・入力速度の向上練習 ・文書作成 ・文書レイアウト 3) タッチメソッドの習得	10	ワードの基本的な操作を習熟する。日本情報処理検定協会主催日本語ワープロ検定2級に準ずる技術修得を目標とする。より高度なビジネス定型文書の作成ができる。正確で速い入力ができるよう、随時タッチメソッド練習ソフトを併用する。	
	10 12	3 表計算ソフトウェアの利用 1) 基礎データの入力 2) 関数の利用 四則演算・平均・順位・最大値・ 最小値・判断文 (IF関数)・多重	10	エクセルの基本的な操作を習熟する。日本情報処理検定協会主催情報技能検定表計算3級に準ずる技能習得を目標とする。正確で速い入力ができるよう、引き続きタッチメソッド練習ソフトを併用する。	
3	1 3	3) 複数ワークシートの活用 4) データの抽出 並べ替え・データベース関数 5) グラフの作成	8	エクセルの基本的な操作を習熟する。日本情報処理検定協会主催情報技能検定表計算3級に準ずる技能習得を目標とする。正確で速い入力ができるよう、引き続きタッチメソッド練習ソフトを併用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況観察 ・3学期確認テスト ・出席状況 ・HD提出 ・自己評価
			30		